

## 質問

熱伝導過渡解析において温度が不自然な結果になる場合がある。

## 回答

熱伝導過渡解析において、急峻な温度変化が発生するような解析条件においては要素内部の形状関数（1次関数または2次関数）で温度分布を滑らかに補間表現することができず、不自然に温度が低い部位や逆に高い部位が発生する場合があります。

温度が急峻に変化する部位のメッシュサイズを小さくすることでこの傾向が緩和される可能性があります。